

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2025 年 5 月 23 日

福島県知事 殿



提出者

住 所 福島県喜多方市塩川町遠田字向川原4384

氏 名 新和コンクリート工業株式会社
代表取締役 佐藤八郎

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0241-27-8181

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	新和コンクリート工業株式会社 会津工場
事業場の所在地	福島県喜多方市塩川町遠田字向川原4384
計画期間	2025年 4月 1日 ～ 2026年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	窯業・土石製品製造業
② 事業の規模	製造品出荷額 約390,000千円
③ 従業員数	26人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	・コンクリート屑 残コン塊・破損品→自社運搬→中間処理委託（破碎） ・汚泥 洗い水等によるスラッジ汚泥→自社保管場所にて乾燥→ 収集・運搬委託→中間処理委託→最終処分（造粒固化 再資源化） ・廃プラスチック 収集・運搬委託→中間処理委託→最終処分（リサイクルor管理型埋立） ・木くず 自社運搬→中間処理委託→最終処分（リサイクルor管理型埋立）

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表取締役社長



会津工場工場長



事務担当

←産業廃棄物処理方針の策定、処理状況の把握

←マニフェスト管理・報告書の作成

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 2024 年度）実績】 別紙 1 のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙 1 のとおり		
②計画	【目標】 別紙 1 のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 別紙 1 のとおり		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	別紙2のとおり
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	別紙2のとおり

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 2024 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 2024 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 2024 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 2024 年度）実績】 別紙1のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	別紙2のとおり		

(第5面)

②計画	【目標】 別紙1のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	別紙2のとおり		
	※事務処理欄		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1

単位: t (トン)

	コンクリート屑		汚泥	
	実績	計画	実績	計画
	2024年度	2025年度	2024年度	2025年度
排出量	959.35	500.0	83.31	80.0
自社再生利用量				
自社熱回収量				
自社中間処理減量化量				
自社埋立処分又は海洋投入処分量				
全処理委託量	959.35	500.0	83.31	80.0
優良認定処理業者への処理委託量			83.31	80.0
再生利用業者への処理委託量	959.35	500.0	83.31	80.0
認定熱回収業者への処理委託量				
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量				

	廃プラスチック類		木くず	
	実績	計画	実績	計画
	2024年度	2025年度	2024年度	2025年度
排出量	8.14	5.0	17.76	15.0
自社再生利用量				
自社熱回収量				
自社中間処理減量化量				
自社埋立処分又は海洋投入処分量				
全処理委託量	8.14	5.00	17.76	15.0
優良認定処理業者への処理委託量	8.14	5.00	17.76	15.0
再生利用業者への処理委託量	7.465	4.75	17.76	15.0
認定熱回収業者への処理委託量				
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量				

（ 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 ）

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
コンクリート屑	・コンクリート使用量を計算し 余分な練り混ぜを減らす ・製品保管用台木の再利用で 木くずの排出を減らす	・現状の取組の維持・徹底 ・余剰在庫の少量化による 在庫製造の削減
汚泥		
廃プラスチック類		
木くず		

（ 産業廃棄物の分別に関する事項 ）

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラスチック類	・鉄くず、廃プラ、木くず等の 人力による分別を行う	・現状の取組の維持・徹底
木くず		

（ 産業廃棄物の処理の委託に関する事項 ）

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
コンクリート屑	・【汚泥】再生業者へ全て依頼 ・【その他】分別の徹底	・【汚泥】継続して再資源化 可能業者へ委託する ・【その他】継続して分別の 徹底。混合廃棄物にしない
汚泥		
廃プラスチック類		
木くず		